

大きな節目を迎えて

大鹿山入植50周年記念碑除幕式

高嶺行政区は、全国各地から入植した開拓者が大鹿山を開拓してきた地区です。開拓が始まったのは昭和28年。今年は50年目の節目の年になります。8月31日には、50周年を記念して建てられた記念碑の除幕式が高嶺サンファミリーで行われました。初めに入植者の孫にあたる4人の子もたちが記念碑を除幕。その後、藤根敏彦高嶺区長は「区民141人で、大きな節目を祝うことができ、今後入植の苦労や歴史を後世に伝えていきたい」とあいさつしました。



防災対策を万全に

三好町防災訓練

防災訓練が8月31日、町内全域で行われました。今回の想定は、東海・東南海地震により震度6弱の地震が発生したというもの。主会場である南中学校では、自主防災会や防災ボランティアなどおよそ650人が参加し、チェンソーによる救出訓練や応急担架の作成などが行われました。救護訓練に熱心に取り組んでいた男性は「今日の訓練で、非常時に住民同士の協力がとても大切なことを実感しました」と防災に対し、気を引き締めていました。



掃除のこつ伝授します

住まいのお手入れ教室

住まいの補修や手入れなどを学んでもらおうと8月28日、住まいのお手入れ教室が中央公民館で開催されました。住まいに関する専門家のD・Y・アドバイザー白石三代子さんを講師に迎え、5回シリーズで行われるこの教室。15人の参加者は、洗剤の選び方や使用方法について説明を受けた後、換気扇の掃除に取り組みました。普段は掃除をしないという男性は「これを機会に家の掃除を手伝ってみようと思います」と額に汗を浮かべながら汚れをこすっていました。



おいしいナシを食べてほしい

ナシ「^{ほうすい}豊水」の目ぞろえ会

ナシ「豊水」の目ぞろえ会が8月26日、グリーンステーション三好で行われました。これは、果樹の形や色、甘さなどを生産者の目で見て、規格品質を決めるものです。今年のナシは、台風の影響で収穫量が例年と比べ20%ほど減少しているとのこと。生産者の一人は「今年のナシの大きさは小ぶりだけど、甘味が凝縮されていますね」とこりこり。なお豊水は、9月末ごろまで、グリーンステーション三好で販売されますので、ぜひ一度ご賞味ください。



もっとうまくなりたい

町民カヌーポロ大会

2004年に開催される世界カヌーポロ選手権大会に向け、カヌーポロに親しんでもらおうと、毎年行われている町民カヌーポロ大会、8回目を迎えた今年は、8月30日と31日の2日間、保田ヶ池カヌーポロ競技場で開催されました。小学生から一般まで133人が参加。強い日差しが照りつける中、熱いドラマを展開しました。小学生の部で男子チームと対戦した女の子は「男の子はとっても強かった。もっと練習してうまくなりたいです」と悔しそうでした。



楽しみながら保育体験

保育体験ボランティア教室

保育体験ボランティア教室が8月19日、訪生保育園で開かれました。これは、中学生と高校生にボランティア活動や保育の大切さを学んでもらおうと、年2回行われているもの。参加した13人は、初めに渡辺きみよ園長から保育ボランティアの趣旨や注意事項の説明を受けた後、早速保育体験を開始。紙芝居やねん土などをして、園児たちと楽しみながら、保育士の体験を行いました。中学生の一人は「子どもたちがよく懐いてくれてうれいです」と楽しそうでした。

